

アウトカム		コード	指標名	種別	調査名	調査年(度)	現状値	単位	目標値 (R11)
最終	がん予防のための施策及びがんの早期発見を通じ、がんにより死亡する県民を減少させる	A1 ★	75歳未満年齢調整死亡率	男性・全部位	人口動態統計(厚生労働省)	令和4年	85.3	人口10万人対	↓
				女性・全部位			56.4		↓
	がんの医療を通じ、がんにより死亡する県民を減少させる	A1 ★ A2 ★	75歳未満年齢調整死亡率(再掲) 5年相対生存率						
				男性・全部位 女性・全部位	新潟県のがん登録から算出	平成27年	61.7 64.0	%	↑ ↑
中間	がんを予防するための生活習慣等の実践により、がんに罹る県民が減少している	B1 ★ (全部位のみ)	年齢調整罹患率	男性・全部位	全国がん登録(国立がん研究センター)	令和2年	494.1	人口10万人対	↓
				男性・胃			83.2		↓
				男性・大腸			107.3		↓
				男性・肺			60.0		↓
				男性・肝			13.2		↓
				女性・全部位			410.7		↓
				女性・胃			29.1		↓
				女性・大腸			56.3		↓
				女性・肺			21.2		↓
				女性・肝			4.7		↓
				女性・乳房			111.7		↓
				女性・子宮			75.00		↓
	がん検診をより多くの住民に実施することにより、早期がんの診断割合が増加している	B2 ★	早期がん割合	診断されたときにがんが上皮内・限局にとどまっている患者の割合(全部位)	全国がん登録(国立がん研究センター)	令和2年	50.8	%	↑
	がんと診断された患者が、適切な医療を受けられる状態にある	B3 ★	がん診療連携拠点病院等が整備されていない空白圏域の数	二次医療圏	がん診療連携拠点病院等(厚生労働省HP)	令和5年	1	数	0
	がん患者とその家族が在宅等での療養場所を選択でき、継続して支援を受けている	B4 ★	在宅がん総合診療科の算定件数	算定件数	在宅がん医療総合診療料の算定件数	令和3年	2,426	件数	↑
		B5 ★	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	医療機関(調査年度3月31日現在)	在宅末期医療総合診療料届出施設数(診療報酬施設基準)	令和4年	102	数	↑

アウトカム		コード	指標名	種別	調査名	調査年(度)	現状値	単位	目標値 (R11)
初期	がんを予防するための生活習慣等を県民が理解し、行動できている	C1 ★	成人喫煙率	総数	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	14.8	%	↓
				男性			24.6		↓
				女性			5.9		↓
		C2 ★	20代の喫煙率	総数	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	11.7	%	↓
				男性			24.0		↓
				女性			2.9		↓
		C3 ★	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関・1か月以内	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	2.6	%	↓
				医療機関・1か月以内			3.7		↓
				学校・1か月以内			1.3		↓
				職場・1か月以内			23.9		↓
				家庭・ほぼ毎日			7.0		↓
				飲食店・1か月以内			14.3		↓
				公共交通機関・1か月以内			4.1		↓
				路上・1か月以内			13.0		↓
		C4 ★	野菜摂取量		県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	290.9	g	↑
		C5 ★	果物摂取量	果物摂取量100g未満の人の割合(成人)	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	56.5	%	↑
		C6 ★	食塩摂取量		県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	10.2	g	↓
		C7 ★	肥満者の割合	20～60歳代男性の肥満者の割合	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	33.5	%	↓
				40～60歳代女性の肥満者の割合			19.2		↓
		C8 ★	1日の平均歩数	20～64歳(男性)	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	7,200	歩	↑
				20～64歳(女性)			5,955		↑
				65歳以上(男性)			4,866		↑
				65歳以上(女性)			4,182		↑
		C9 ★	運動習慣者の割合	20～64歳(男性)	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	44.1	%	↑
				20～64歳(女性)			40.0		↑
				65歳以上(男性)			65.5		↑
				65歳以上(女性)			49.3		↑
		C10 ★	ハイリスク飲酒者の割合	1日当たりの純アルコール摂取量が40g以上の男性の割合	県民健康・栄養実態調査(新潟県)	令和5年	16.6	%	↓
				1日当たりの純アルコール摂取量が20g以上の女性の割合			9.0		↓

新潟県がん対策推進計画(第4次) 指標一覧(案)

資料No. 2-3

アウトカム		コード	指標名	種別	調査名	調査年(度)	現状値	単位	目標値 (R11)
初期	日常的な健康管理としてのブレスト・アウェアネスに関する普及啓発が実施されている	C11★	ブレスト・アウェアネスの普及啓発を実施する市町村数		健康診査実施体制等調査(新潟県)	令和5年度	27/30	市町村	全市町村
	子宮頸がんとHPV感染との関連について若年者及びその保護者への普及啓発が実施されている	C12★	HPVワクチンの接種率	初回接種(定期接種)	厚生労働省調べ	令和4年度	12.6	%	↑
	肝炎ウイルス検診の受診、陽性者の医療機関受診の促進などの体制が充実している	C13	肝炎医療コーディネーター養成者数		県調べ	令和6年度	1,318	人	↑
	がんを早期に発見し、早期に治療が受けられるよう、科学的根拠に基づくがん検診の受診が促進されている	C14★	がん検診受診率	胃・40～69歳／過去1年間	国民生活基礎調査(厚生労働省)	令和4年	54.7	%	60.0
				子宮頸・20～69歳／過去2年間			47.8		60.0
				肺・40～69歳／過去1年間			60.6		70.0
				乳・40～69歳／過去2年間			50.9		60.0
				大腸・40～69歳／過去1年間			53.6		60.0
		C15★	科学的根拠に基づくがん検診を実施している市町村数		がん検診精度管理調査(新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会)	令和5年	30/30	市町村	全市町村
	要精密検査の対象者を確実に医療機関受診につなげられている	C16★	要精検者の精検受診率	胃	がん検診等結果報告(新潟県)	令和4年度	88.9	%	100
				子宮頸			79.3		100
				肺			88.4		100
				乳			92.1		100
				大腸			76.5		100
		C17★	要精検率	胃	がん検診等結果報告(新潟県)	令和4年度	5.2	%	↓
				子宮頸			1.6		↓
				肺(胸部X線検査)			2.33		↓
				肺(喀痰細胞診)			0.50		↓
				乳			5.5		↓
				大腸			5.5		↓
		C18★	がん発見率	胃	がん検診等結果報告(新潟県)	令和4年度	258.3	受診者 10万人対	↑
				子宮頸			6.7		↑
				肺			30.7		↑
				乳			365.2		↑
				大腸			285.1		↑
		C19★	陽性反応適中度	胃	がん検診等結果報告(新潟県)	令和4年度	4.9	%	↑
				子宮頸			0.4		↑
				肺			1.3		↑
				乳			6.7		↑
				大腸			5.2		↑

新潟県がん対策推進計画(第4次) 指標一覧(案)

資料No. 2-3

アウトカム		コード	指標名	種別	調査名	調査年(度)	現状値	単位	目標値 (R11)
初期	がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療の均てん化と集約化を図る	C20★	がん診療連携拠点的病院等が整備されていない空白圏域の数	二次医療圏	県調べ	令和6年	1	数	↓
		C21★	がん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等指定数(厚生労働省HP)	令和5年	9	数	↑
		C22★	がん診療連携拠点病院に準じる病院の数	がん診療連携拠点病院に準じる病院の数	県調べ	令和5年	5	数	→
		C23★	がん治療認定医数	治療医認定医の数	日本がん治療認定医機構が認定したがん治療認定医の数(日本がん治療認定医機構HP)	令和5年	229	人	↑
		C24★	がん専門看護師数	専門看護師の数	がん看護分野で日本看護協会により認定を受けた専門看護師の数(日本看護協会)	令和5年	21	人	↑
		C25★	がん専門薬剤師数	専門薬剤師の数	日本医療薬学会により認定されたがん専門薬剤師の数(日本医療薬学会)	令和5年	11	人	→
		C26★	病院における悪性腫瘍手術の実施件数	病院における悪性腫瘍実施件数(診療所は除く)	医療施設調査	令和2年	1,179	件数	↑
		C27★	放射線治療(体外照射、組織内照射)の実施件数	病院における悪性腫瘍実施件数(診療所は除く)	医療施設調査	令和2年	4,553	件数	↑
		C28★	病院における外来化学療法の実施件数	病院における悪性腫瘍実施件数(診療所は除く)	医療施設調査	令和2年	6,506	件数	↑
	がん診療連携拠点病院等における多職種でのチーム医療を実施する体制の構築	C23★	がん治療認定医数(再掲)	治療医認定医の数	日本がん治療認定医機構が認定したがん治療認定医の数(日本がん治療認定医機構HP)	令和5年	229	人	↑
		C24★	がん専門看護師数(再掲)	専門看護師の数	がん看護分野で日本看護協会により認定を受けた専門看護師の数(日本看護協会)	令和5年	21	人	↑
		C25★	がん専門薬剤師数(再掲)	専門薬剤師の数	日本医療薬学会により認定されたがん専門薬剤師の数(日本医療薬学会)	令和5年	11	人	→
		C29★	がん診療連携拠点病院等においてカンファレンス等を実施している病院の割合	国指定のがん診療連携拠点病院等の中で確認	県調べ	令和4年	100	%	100
		C30★	院内又は地域の歯科医師と連携してがん患者の口腔管理を行うがん診療連携拠点病院等の数	「がん患者に対して、周術期の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯科医師と連携して対応している」と回答した拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等現況報告書	令和5年	9	病院	全病院 (14)
	がんと診断された時からの緩和ケア提供体制の構築	C31★	緩和ケア研修会修了者数	医療従事者全て	県調べ	令和4年度	209	数	↑
		C32★	緩和ケア研修会指導者数	医療従事者全て	日本緩和医療学会調べ(総数)	令和4年	82	数	↑
		C33★	緩和ケア研修会を実施している病院数	1病院で1年に2回研修実施している場合は2とカウントする	県調べ	令和4年	10	数	↑

新潟県がん対策推進計画(第4次) 指標一覧(案)

資料No. 2-3

アウトカム		コード	指標名	種別	調査名	調査年(度)	現状値	単位	目標値 (R11)
初期	がんと診断された時からの緩和ケア提供体制の構築	C34★	入院緩和ケアの実施件数	A226-2 緩和ケア診療加算 またはA226-3有床診療所 緩和ケア診療加算の算定 件数	NDB	令和3年	7,014	件数	↑
		C35★	外来緩和ケアの実施件数	B00124 外来緩和ケア管理 料の算定件数	NDB	令和4年	207	件数	↑
		C36★	緩和ケア病棟を有する病院数	二次医療圏編 第27表 病 院数(重複計上);病床数; 患者数, 緩和ケアの状況・ 二次医療圏別	医療施設調査	令和2年	8	数	↑
		C37★	緩和ケア病棟を有する病床数	二次医療圏編 第27表 病 院数(重複計上);病床数; 患者数, 緩和ケアの状況・ 二次医療圏別	医療施設調査	令和2年	183	数	↑
		C38★	緩和ケアチームのある病院数	二次医療圏編 第27表 病 院数(重複計上);病床数; 患者数, 緩和ケアの状況・ 二次医療圏別	医療施設調査	令和2年	15	数	↑
	がんの治療後における、他職種の連携による支援可能な体制の構築や在宅医療を提供する医療機関の整備	C39★	在宅がん総合診療科の算定件数(再掲)						
		C40★	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数(再掲)						
	がん診療拠点病院等が希少がん・難治性がんにおける役割分担を担い、安心して医療が受けられる	C41	希少がん・難治性がんを専門的に診療しているがん診療拠点病院数	がん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等指定更新・ 現況報告書	令和4年	9	数	↑
	小児・AYA世代の患者とその家族が安心して医療や支援を受けられる体制の整備	C42★	妊孕性温存療法助成事業における実績数		県調べ	令和5年	7	件	↑
		C43★	がん・生殖医療ネットワークにおける妊孕性温存療法実施施設数	診療所を含む	県調べ	令和5年	2	数	→
	高齢のがん患者がそれぞれの状況に応じた適切ながん医療を受けられるように支援が受けられる	C44★	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等実施件数	B005-6 治療連携計画策定 料の算定件数	NDB	令和3年度	1,018	件数	↑
		C45★	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数	B005-6 治療連携計画策定 料の算定件数	NDB	令和3年度	12,300	件数	↑
		C46★	訪問看護利用者数	訪問看護利用者数(精神以外)算定回数	NDB C005 在宅患者訪問看護・指導 料の算定件数	令和3年度	611	件数	→
	がん患者が十分な情報を得て治療を選択でき、治験へ参加できること等を可能にする	C47	臨床試験に参加していない患者や家族向けの問い合わせ窓口を設置しているがん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等現況報告書	令和5年	9	数	→
	がん診療連携拠点病院等を中心とした相談支援体制の整備、情報収集・発信を含めた患者や患者家族等への支援	C48★	がん相談支援センターにおける相談件数	国指定のがん診療連携拠点病院等の中でカウント	がん診療連携拠点病院等指定更新・ 現況報告書	令和3年	18,336	件数	↑
		C49★	相談員研修を受講した相談員の人数	小児がん診療連携拠点病院等は除く	がん診療連携拠点病院等指定更新・ 現況報告書	令和4年	42	人	↑
	切れ目のない緩和ケア提供体制の整備	C44★	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数(再掲)	B005-6 治療連携計画策定 料の算定件数	NDB	令和3年度	12300	件数	↑
	患者に対するセカンドオピニオン等の提供体制の推進	C50	セカンドオピニオンを提示する体制を整備し、患者にわかりやすく公表しているがん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等現況報告書	令和5年	9	数	→

アウトカム		コード	指標名	種別	調査名	調査年(度)	現状値	単位	目標値 (R11)
初期	がん患者が社会的な問題による苦痛を受けない体制が整備されている	C51★	がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	小児がん診療連携拠点病院等は除く	がん診療連携拠点病院等指定更新・現況報告書	令和4年	272	件数	↑
		C52★	長期療養者就職支援事業を活用した就職者数	新潟県労働局で確認しているもの	新潟県労働局調べ	令和4年	50	人	↑
		C53	医療用補正具助成を実施する県内市町村数		県調べ	令和5年度	6	市町村	全市町村
		C31★	緩和ケア研修修了者数(再掲)	医療従事者全て	県調べ	令和4年度	209	数	↑
		C54	がん患者の自殺対策リスクに対する研修を開いている拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等の数	がん診療連携拠点病院等現況報告書より	令和5年	2	数	↑
	小児がん治療を受けた方への長期フォローアップ体制の確立	C55	長期フォローアップ外来を開設している小児がん拠点病院等の数	小児がん拠点病院等の数	県調べ	令和5年	2	数	→
	がん登録が普及・充実し、登録精度の向上が図られている(再掲)	C56★	院内がん登録を実施している医療機関		院内がん登録全国集計報告書(国立がん研究センター)	令和4年	14	医療機関	↑
		C57★	DCO率	全国がん登録における登録罹患数のうち死亡データのみで把握された割合	全国がん登録(国立がん研究センター)	令和2年	0.9	%	↓
	骨髄バンクドナー登録の機会を確保できる体制を充実させるとともに、県民が骨髄移植について十分認識している	C58	対象人口千人当たりにおける骨髄バンクドナー登録者数		提供希望者都道府県別登録者数((公財)日本骨髄バンク)	令和6年2月末	10.34	人	↑
	学校におけるがん教育の推進、企業等と連携した普及啓発等による社会教育の推進により、社会全体のがんに対する理解が深まっている	C59★	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	全体	がん教育実施状況調査(文部科学省)	令和5年度	10.0	%	↑
				小学校			5.8		↑
				中学校			19.5		↑
				高等学校			5.6		↑
		C60★	にいがた健康経営推進企業登録数		県調べ	令和6年9月末	1,858	企業	↑
	専門的人材の適正・配置	C31★	緩和ケア研修会修了者数(再掲)	医療従事者全て	県調べ	令和4年度	209	数	↑

※「目標値(R11)」の矢印は、↑:増加させる、→:現状維持、↓:減少させる、をそれぞれ表す。

※コード欄に★のある指標は、第8次新潟県地域保健医療計画(がん分野)において採用されていることを表す。